

平成20年 新春記者会見 要旨

1 昨年を振り返って

・「できごと」

- ・食品偽装問題
- ・地球温暖化
- ・年金、救急医療などの社会保障制度に関する問題
- ・所得格差などの格差問題
⇒ 将来の生活に対する不安や不透明感が一層高まった年
- ・道州制の導入も含めた、地方分権推進の議論が更に活発化
- ・宮崎県知事の流行語大賞受賞
⇒ 人々の生活に最も身近な行政である地方自治体のあり様について、強く考えさせられた年

・「本市での動き」

- ・市町合併により、北関東初の50万都市を実現
- ・「ひと」に視点を据えたまちづくり
(「もったいない全国大会」開催、「子ども発達センター」オープン など)
- ・中心市街地における、まちなかの賑わいの回復に向けた取組
(「宇都宮城址公園」、「うつのみや表参道スクエア」整備 など)
- ・「うつのみや花火大会」、「栃木SC」
⇒ 更なる宇都宮の発展に向けて、より多様な魅力とポテンシャルを高められた年

2 年頭にあたっての決意

- ・50年、100年先であっても揺るぎない存在感と求心力を有する、魅力と活力に満ちた都市となるための、確固たる基礎を築く年とする。
⇒ 4年間の任期の集大成として、全力で取り組む。

3 平成20年の主な取り組み

(1) 全ての市民が幸せに暮らせるまちづくり

①「子育て支援の充実」

- ・こども医療費助成の拡充
- ・妊産婦に対する支援の拡充
(妊婦一般健康診査事業の充実 など)
- ・保育サービスの充実
(保育ママ制度の創設、事業所内保育施設設置補助制度の創設 など)
- ・ワーク・ライフ・バランスの支援
(ファザーリング事業の展開 など)

②「高齢者の生活の質の向上」

- ・緊急通報システムの拡充
- ・団塊・シニア世代のための総合的な相談機能の充実

③「総合的な交通ネットワークの充実」

a. 「公共交通」

- ・公共交通ネットワークの構築
(既存公共交通と新交通システムの連携方策の明示,
新交通システム導入に向けた検討 など)
- ・地域内交通の促進

b. 「道路ネットワーク」

- ・都市計画道路・幹線市道の計画的整備
(「産業通り西原立体・川田」 など)
- ・スマート I C の設置

④「安全・安心な生活環境の創出」

a. 「防犯」

- ・自主防犯活動団体の活動補助
- ・高照度防犯灯の設置補助

b. 「防災」

- ・学校施設耐震化の集中的な実施
- ・(仮称)東消防署の開署

c. 「生活環境」

- ・路上喫煙の防止に向けた条例の制定
- ・ごみのないきれいなまちの実現にむけた条例の制定

⑤「深刻化する地球環境問題への対応」

- ・「第2回もったいない全国大会」の実施
- ・その他プラスチック製容器包装資源化施設の整備着手

(2) 多くの人たちから選ばれるまちづくり

①「魅力ある拠点の創造」

a. 「賑わいと風格のある都心部づくり」

- ・J R 宇都宮駅東口地区の整備
- ・市街地再開発事業の推進
(馬場西地区, 千手・宮島地区, 宇都宮駅西口第4 B 地区 など)

b. 「機能的で活力のある地域拠点づくり」

- ・雀宮駅周辺地域の整備
(第3図書館, 駅関連施設の整備 など)
- ・岡本駅西土地区画整理事業の重点化
- ・中里原土地区画整理事業の計画的実施

②「都市の個性の創出と発信」

- ・宇都宮城址公園土塁内施設の整備
- ・魅力ある都市景観づくりの推進
- ・河内総合運動公園整備の重点化

(3) 持続的に発展できるまちづくり

①「次代を築く人材の育成」

- ・学校普通教室・図書室などの冷房化
- ・特別支援教育の推進
- ・学校教育における食育の推進
(学校栄養職員の全校への配置 など)
- ・小中一貫教育制度の検討
(地域学校園制度の検討 など)
- ・「宮っ子の誓い」の推進

②「産業力の強化」

- ・農産物ブランド化の推進
- ・地産地消の推進
- ・「うつのみやアグリネットワーク」の推進
- ・新規起業者支援の充実

③「地域が主体となったまちづくり」

- ・魅力ある学校づくり協議会の設置促進
- ・地域スポーツクラブの設立支援
- ・宇都宮版CSRの構築

(4) その他の主要な取り組み

- ・栃木SCの支援
- ・新斎場の整備
- ・使用料・手数料の改定

4 新年度予算編成

- ・民間活力の活用などの行財政改革の推進や、スクラップ・アンド・ビルドの徹底などによる、財源の効果的・効率的な活用
- ・施策・事業の優先化・重点化
⇒ 将来にわたる持続的な発展の礎を築く力強い予算となるよう、積極的に取り組む。

5 新年度執行体制

- ・副市長2人制などによる、トップマネジメント機能の強化
- ・「(仮称)子ども部」の設置
- ・雀宮周辺地域整備のための専任体制の整備
- ・環境部の再編

6 むすび

- ・誰もが夢と希望を持ち、後々の世代に誇りをもって引き継ぐことができる新しい宇都宮を築くため、「第5次宇都宮市総合計画」のスタートとなる本年を、心新たに力強い第一歩を踏み出す年とし、残された任期を全身全霊で取り組んでいく。
- ・皆様方には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。